

保護者の皆様へ 附属特別支援学校長だより

NO. 4
2019年7月25日
発行：大阪教育大学附属
特別支援学校
校長 須田 正信

一学期終業式 様々な宿泊行事から将来の自立への効果の期待



一学期終業式が十九日にありました。各学部代表に学習の記録を読み上げ手渡ししました。一学期後半は、小学部臨海学舎、高等部臨海体験学舎、中学部修学旅行等宿泊を伴う大きな行事が目白押しでした。子どもたちにとって貴重な経験となり、今後の自立に向けた学習効果に期待したいと思います。二日間のプール登校日以降24日からは長い夏季休業に入ります。規則正しく過ごし、健康に留意して、楽しい夏休みとなることを願っています。

●小学部臨海学舎

7月3日～5日

(淡輪・和歌山)

●高等部臨海体験学舎

7月10日～12日

(淡路島)

●小学部臨海学舎は、泉南郡岬町淡輪や和歌山の海に行きました。昨年は大雨警報があり、海の企画はできませんでしたが、今年は何とか雨雲を避けて実施することができました。船の形が特徴の宿舎に泊まり「カヌー体験」や「うみ体験」、「磯石あそび」、宿泊しての生活体験等を行いました。

●高等部臨海体験学舎は、恒例の淡路島慶野松原荘に宿泊して「海体験」や「集団生活体験」をしました。二日目は雨模様のため、雨天バージョンでしたが高等部として将来の自立に向けた取り組みができたと思います。

●中学部は東京方面への修学旅行を終えて、二学期は曽爾高原での「林間学舎」があります。行事をとおしての体験学習の効果について今後も検証していくことが必要かと思えます。

高等部臨海体験学習



■明石海峡大橋を背にいつものスポット写真です。



■慶野松原ビーチでの海体験やイングランドの丘、奇跡の星植物園など多彩な体験学習をしました。

小学部臨海学舎 7月3日～5日(淡輪・和歌山)



小学部臨海学舎



■ 中学部の活動の紹介です。「山の辺の道」へのハイキングや大阪城・NHKへの校外学習がありました。学校から離れて様々な学びの機会を多く企画しています。

■ 中学部
「山の辺の道ハイキング
(六月十四日)」と
校外学習(七月五日)の取組



タベのつどい 7月20日(土) 卒業生・芙蓉会や附属平野五校連PTAの人たち、保護者が集って盛大に開催



恒例の「タベのつどい」が曇り空の下実施することができました。PTAの皆さんが早朝より準備等に動んでいただき、模擬店や遊びコーナー、花火などを楽しむことができました。卒業生や芙蓉会の皆さんも模擬店や遊びコーナーをしていただきました。また、附属五校連PTAの皆さんや全附PTA連前会長の呉本さんもお見えになりました。雨をしのいでの楽しいひと時になりました。